

スタンダード薬学シリーズ

第6巻 薬と疾病 III. 薬物治療(2) および薬物治療に役立つ情報

第1版 補遺・正誤 (2011年12月現在)

A. 法律改正に伴う変更 (2011年12月現在)

1. 生物学的製剤基準の変更に伴い、SBO95の記述を下記のように変更します。

SBO	修正箇所	変更前	変更後 (下線部は変更箇所)																
SBO95	p.47 表 95・1 をつぎの表に差換えます。	<p>表 95・1 輸血用製剤ならびに血液製剤 (2011年12月現在)</p> <hr/> <table> <tr> <td>1. 全血製剤：</td> <td>人全血液</td> </tr> <tr> <td>2. 成分輸血製剤：</td> <td>人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液</td> </tr> <tr> <td>3. アルブミン製剤：</td> <td>人血清アルブミン、加熱人血漿たんぱく</td> </tr> <tr> <td>4. 人免疫グロブリン製剤：</td> <td>人免疫グロブリン、乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン</td> </tr> <tr> <td>5. 抗人免疫グロブリン製剤：</td> <td>乾燥抗D人免疫グロブリン、抗HBs人免疫グロブリン、抗破傷風人免疫グロブリン</td> </tr> <tr> <td>6. 人ハプトグロブリン製剤：</td> <td>人ハプトグロビン</td> </tr> <tr> <td>7. 生物学的組織接着剤：</td> <td>乾燥人フィブリノゲン</td> </tr> <tr> <td>8. 血液凝固因子製剤：</td> <td>乾燥人血液凝固第Ⅷ因子</td> </tr> </table> <hr/>		1. 全血製剤：	人全血液	2. 成分輸血製剤：	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	3. アルブミン製剤：	人血清アルブミン、加熱人血漿たんぱく	4. 人免疫グロブリン製剤：	人免疫グロブリン、乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	5. 抗人免疫グロブリン製剤：	乾燥抗D人免疫グロブリン、抗HBs人免疫グロブリン、抗破傷風人免疫グロブリン	6. 人ハプトグロブリン製剤：	人ハプトグロビン	7. 生物学的組織接着剤：	乾燥人フィブリノゲン	8. 血液凝固因子製剤：	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子
	1. 全血製剤：	人全血液																	
2. 成分輸血製剤：	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液																		
3. アルブミン製剤：	人血清アルブミン、加熱人血漿たんぱく																		
4. 人免疫グロブリン製剤：	人免疫グロブリン、乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン																		
5. 抗人免疫グロブリン製剤：	乾燥抗D人免疫グロブリン、抗HBs人免疫グロブリン、抗破傷風人免疫グロブリン																		
6. 人ハプトグロブリン製剤：	人ハプトグロビン																		
7. 生物学的組織接着剤：	乾燥人フィブリノゲン																		
8. 血液凝固因子製剤：	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子																		
p.47 表 95・2 2. 抗毒素	乾燥破傷風ウマ抗毒素	乾燥ハブウマ抗毒素																	

2. 薬事法の改正に伴い、SBO5,9の記述を下記のように変更します。

SBO	修正箇所	変更前	変更後
SBO5	p.150 下より1行目～p.151 上より18行目 (薬事法第50条“直接の容器等の記載事項”, 2009年施行)	6) 一般用医薬品では厚生労働省令で定められた事項 11) 厚生労働大臣の指定する医薬品では、「注意—人体に使用しないこと」の文字 を追加し、6)～9)、10)の番号を7)～10)、12)に変更します。	
SBO9	p.160 網掛けの表 (薬事法第2条第12項“定義”, 2005年施行)	20. 製造業者または輸入販売業者の	20. 製造販売業者の
	p.161 網掛けの表 (薬事法第2条第12項“定義”, 2005年施行)	11. 製造業者または輸入販売業者および販売業者の	20. 製造販売業者の

B. 新しい情報源への変更 (2011年12月現在)

SBO	修正箇所	変更前	変更後
SBO7	p.154 §7・2・4 上より1行目	“実践 妊娠と薬—1,173 例の相談事例とその情報(じほう)”,	“実践 妊娠と薬 第2版(じほう)”,
	p.154 §7・2・4 上より4～5行目	“Drugs in Pregnancy and Lactation” では...記載している。 を削除します。	

SBO13 p.173 表 13・2 中, 下記下線部を変更します。

表 13・2 情報源となるおもなサイト (2011年12月現在)

名称(URL)	内容	名称(URL)	内容
医薬品医療機器情報提供ホームページ (http://www.info.pmda.go.jp)	医薬品添付文書改訂・副作用・新薬・回収などの公的情報	日本医薬情報センター (http://www.japic.or.jp/)	副作用文献・添付文書
大学病院医療情報ネットワーク (http://www.umin.ac.jp)	医薬品・医療情報	FDA (http://www.fda.gov/)	米国における医薬品情報など
医中誌 Web (http://www.jamas.or.jp/)	国内文献	感染症情報センター(http://idsc.nih.go.jp/index-j.html)	感染症関連情報
PubMed (http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/)	海外文献	薬事日報 (http://www.yakuji.co.jp/)	医療・医薬品業界など全般
m3.com (http://www.m3.com/)	医療情報(各製薬企業サイトにも接続)	SAFE-DI(http://www.safe-di.jp/)	医薬品・医療情報
		NewPINS (https://e-info.stream.com)	医薬品添付文書情報

SBO14	p.179 下より6行目 “医学文献を読むための‘利用者の手引き’”の欄外注(欄外下より2行目)	*原題: “User’s Guides to the Medical Literature : A Manual for Evidence-based Clinical Practice”, 2nd Ed., ed. by G. Guyatt, McGraw Hill Medical, New York (2008)(翻訳: “医学文献ユーザーズガイド—根拠に基づく診療のマニュアル”, 第2版, 相原守夫ほか監訳, 凸版メディア(2010))
-------	---	---

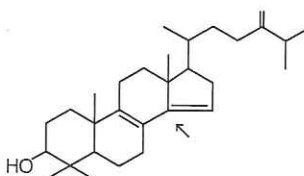
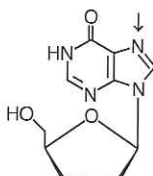
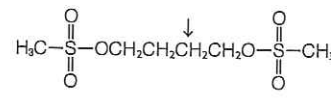
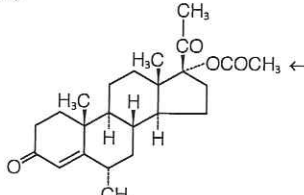
SBO18 p.190 表 18・1 の提供媒体の欄を以下のように変更します。

表 18・1 代表的な医薬品情報データベースの特徴 (2011年12月現在)

データベース	提供媒体
二次資料データベース	
MEDLINE	インターネット(無料)
EMBASE	インターネット(有料)
コクランライブラリー	インターネット(有料)
JMEDPlus	インターネット(有料)
医学中央雑誌	インターネット(医学中央雑誌刊行会: 有料)
三次情報データベース	
UpToDate	インターネット(有料)
Health Care Series	インターネット(有料)
日本医薬品集	CD-ROM(有料)

C. 正 誤

SBO	修正箇所	誤	正(下線部は変更箇所)
SBO85	p.8 欄外 上より14行目	enterohaemorrhagic	entero <u>h</u> emorrhagic
SBO86	p.18 欄外 下より12行目	isoniazido (INH)	isoniazid <u>i</u> (INH)
SBO87	p.19 下より2行目	5) カルバペネム系:ペナム系と構造が類似しているが、ペナム系の五員環の	5) カルバペネム系:ペナム系と構造が類似しているが、 <u>ペネム系</u> の五員環の
SBO88	p.24 欄外 上より4行目	セフェム cefem	セフェム <u>ceph</u> em
	p.24 欄外 上より6行目	oxacefem	oxace <u>ph</u> em
	p.25 表 88・1 化学療法薬の下より19段目	セフォリス	セフォ <u>se</u> リス
	p.25 表 88・1 化学療法薬の下より15段目 p.28 上より7行目, 欄外 上より9行目	セフミノックス	セフミ <u>no</u> クス
	p.25 表 88・1 化学療法薬の下より1段目	スルダミシン	スルダミシ <u>ri</u> ン
	p.28 欄外 下より1行目	cefslozin	cefs <u>u</u> lozin
	p.28 図 88・1 左下 セフォペラゾン	4-エチル-2,3-ジオキソピペリジニルカルボニル基	4-エチル-2,3-ジオキソピ <u>pe</u> ラジニルカルボニル基
SBO89	p.30 下より4~3行目	細胞内寄生性であるマイコプラズマ, リケッチア,	肺粘膜上皮上で増殖するマイコプラズマや, 細胞内寄生性であるリケッチア
SBO90	p.32 下より10行目	細胞内寄生性のマイコプラズマやクラミジア	肺粘膜上皮上で増殖するマイコプラズマや細胞内寄生性のクラミジア
	p.33 上より6行目	プロトン阻害薬	プロトン <u>ポン</u> プ阻害薬
	p.34 欄外 上より2行目	ketorides	ketol <u>i</u> des
SBO92	p.38 下より5行目	“敗血症”を削除します。 (ニューキノロン薬に適応あり)	
	p.40 表 92・1 ナリジクス酸の項	“淋菌”を有効にします。	
	p.40 表 92・2	びまん性細汎気管支炎	びまん性汎細気管支炎
SBO93	p.42 上より11, 17行目, 欄外上より4行目, 図 93・1 ①	スルフィソキサゾール	スルフィ <u>s</u> キサゾール
SBO98	p.58 表 98・1 赤痢アムーバ/使用上の注意の項	イオドキノール	<u>yo</u> ードキノール
SBO99	p.63 上より16行目	デオキシチアミン-リン酸	デオキシチ <u>mi</u> ジン-リン酸
	p.64 上より3~6行目	トリアゾール系のフルコナゾール(注射剤, カプセル), ..., ボリコナゾール(錠剤, 注射剤), イミダゾール系のイトラコナゾール(カプセル), ミコナゾール(注射剤)の5種が適用となる。	トリアゾール系のフルコナゾール(注射剤, カプセル), ..., ボリコナゾール(錠剤, 注射剤), イ <u>mi</u> ダゾール系のイトラコナゾール(カプセル), ミコナゾール(注射剤)の5種が適用となる。

SBO	修正箇所	誤	正(下線部は変更箇所)
SBO99 (つづき)	p.64 図 99・3 下段中央 4,4-ジメチルエルゴスタ -8,14,24(28)-トリエン-3-β -オールの構造式	修正後(→:修正部分) 	
	p.65 下より3行目	ポリペプチド	<u>リポ</u> ペプチド
SBO100	p.67 欄外 下より9行目	triflridine	trifl <u>u</u> ridine
	p.69 図 100・3 上段左より2番目ジダノシ ンの構造式	修正後(→:修正部分) 	
	p.70 欄外 下より14~11行目	サニルブジン(sanilvudin):ジヒドロジデ オキシチミジン(dihydrodideoxythymi- dine),	サニルブジン(sanilvudin):ジデヒド ロデオキシチミジン(<u>didehydrodeoxy- thymidine</u>),
SBO102	p.81 上より4行目	QRDQ	QRDR
SBO103	p.85 上より12行目	セフペラゾン	セフ <u>オ</u> ペラゾン
SBO104	p.86 欄外 下より7~6行目	APC: adenomatous polyposis coil	APC: adenomatous polyposis <u>coli</u>
SBO108	p.102 上より5,6行目	エトポシドは、マンダラケから得られたポド フィロキシンの半合成配糖誘導体で	エトポシドはメギ科植物 <u>Podophyllum peltatum</u> あるいは <u>Podophyllum emodi</u> の根茎から抽出されたポドフィ ロキシンの半合成配糖誘導体で
SBO110	p.108 プスルファン ^① の構 造式	修正後(→:修正部分) 	
SBO113	p.115 上より3行目	太平洋イチイ(<i>Taxus brevifolia</i>)	太平洋イチイ(<i>Taxus brevifolia</i>)
SBO114	p.119 図 114・3 メドロキシprogesteroneの 構造式	修正後(→:修正部分) 	
SBO115	p.124 上より3,5,7,8行 目, 欄外上より1行目	ジヒドロピリジンデヒドロゲナーゼ dihydropyridine dehydrogenase (DPD)	ジヒドロピリミジンデヒドロゲナーゼ dihydropyrimidine dehydrogenase (DPD)
SBO117	p.130 下より15行目	尿のアルキル化	尿のアルカリ化